



介護技能実習生

受入れの取り組み



私たちは、技能実習生の受入れを通じて、ミャンマーにおける介護の中核を担う人材を育成することに貢献したいと考えています。

1月	●雇用条件書等作成・提出
2月	
3月	現地面接
3月	配属決定
4月	●技能実習計画書等作成、外国人技能実習機構へ提出
7月	
7月	女子寮建築着工
8月	技能実習計画認定
9月	女子寮完成
10月	国内講習 ●介護講習 ●日本語学習
10月	指導方法の確認
10月	講習先訪問（三重県松阪市） ●講習の様子見学 ●制服サイズ合わせ ●配属先労働条件説明
11月	三重県→山口県移動付き添い
11月	生活オリエンテーション ●自転車講習 ●公共交通機関の利用方法 ●駅周辺の散策 ●役所手続き
11月	事業所見学 ●法人内事業所あいさつ ●リハビリ機器体験 ●院内給食・介護施設給食の試食
11月	●歓迎会
11月	●名所観光（りんご狩り・長門峡）
12月	実習開始 ●各事業所での研修
12月	●ふれあい懇親会（BBQ・津和野）
1月	●名所観光（宮島）
2月	●介護技能実習評価試験 初級学科模擬試験（女子8名）
2月	●ふれあい懇親会（サッカー観戦）
3月	●介護技能実習評価試験 初級実技模擬試験（女子8名）
5月	
6月	●名所観光（秋吉台・秋芳洞・別府弁天池）
6月	●介護技能実習評価試験初級（女子8名）
6月	●介護技能実習評価試験 初級学科模擬試験（男子2名）
6月	●介護技能実習評価試験 初級実技模擬試験（男子2名）
7月	

法人内の準備

配属の決定

実習生一人ひとりの能力や性格を考慮し、実習先を決定。



女子寮完成

実習生が共同で生活する個室の寮を完備。



文化を理解

実習生の国の文化や国民性を職員全員で理解し共有。



指導方法の確認

適切な注意の仕方（叱り方）や外国人に伝わりやすい指示の仕方など、指導する上での注意事項を職員全員で共有。

翻訳機の導入

実習開始当初は実習生たちの日本語がまだ上達していないため翻訳機を使用。（現在はほぼ使用していない）

オリエンテーション準備

事業所見学、役所手続きや交通ルール指導などオリエンテーションのスケジュールを作成。



▲生活のしおり

ごみの捨て方・交通マナー・寮のルール・周辺地図などをまとめたしおりを作成。

実習生の動き

現地面接



国内講習



1ヵ月介護講習や日本語を学習。

生活オリエンテーション



寮でのオリエンテーション。



自転車のマナーなど交通ルールを学習。



通勤のためのバスの乗り方を事前に確認。

事業所見学



民族衣装を着て法人内の各事業所を見学。



リハビリ機器を体験。



シーツ交換を体験。

2年目

3年目

4・5年目

技能実習生2号

技能実習生3号

7月 ●実用日本語検定 J・TEST

8月 ●介護技能実習評価試験初級 (男子2名)

12月 ●日本語能力検定 J L P T

11月 ●介護技能実習評価試験専門級 (女子8名)

12月 ●介護技能実習評価試験専門級 (男子2名)

特定技能1号



＼歓迎会／
生魚が苦手なため、
中華料理を選択

介護記録の書き方を練習。



各事業所での研修。



実習開始



試験練習

試験へ向けて実技の練習。



個人面談

約3ヵ月に
1回

監理組合が実施する面談とは別に個人面談を行っています。面談をすることで生活や職場での悩みなど、きめ細かくフォローできます。私たちは約3ヶ月毎に個人面談を実施しており、面談の際はミャンマーにいる家族のことや将来のことを聞いたり、勉強方法や頻度の確認をしております。また個々の日本語成長度合いも感じることができます。



技能実習生全体 ミーティング

1ヵ月に
1回

私たちや監理組合より技能実習生全員に周知しておきたいことなど、この場を活用しています。また、技能実習生からの質問なども受け付け、内容によっては技能実習受入れ施設関係者ミーティングでも取り上げます。



技能実習受入れ施設 関係者ミーティング

3ヵ月に
1回

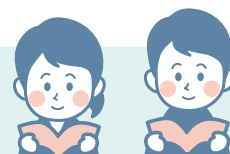
※初年度は1ヵ月に1回

技能実習生が受入れ施設に配属される前から開催し、その後も1年間は毎月開催していたミーティングです。開催ごとに受入れ施設側の技能実習責任者や技能実習指導員の悩みを聞き、受入れ施設同士で共有する場として活用していました。実際に指導方法については言葉の壁があり悩みも大きい時期があったため、資料を使用してコミュニケーションの研修を実施した経緯があります。その他、介護技能評価試験に向けて取り組み方法統一の話し合いを行い、その後の練習に盛り込んでいくことも行いました。技能実習生が職場や日本語に慣れてくると徐々に受入れ施設の悩みも少なくなってきましたので、現在は3ヶ月に1度の開催にしております。

技能実習生が受入れ施設に配属される前から開催し、その後も1年間は毎月開催していたミーティングです。開催ごとに受入れ施設側の技能実習責任者や技能実習指導員の悩みを聞き、受入れ施設同士で共有する場として活用していました。



日本語検定試験結果



日本語能力試験 JLPT

1名 N2 取得、6名 N3 取得
2名 N4 取得

実用日本語検定 J・TEST

1名 N3 相当取得

生活支援

技能実習生が日本で円滑に生活できるため、
様々な取り組みを行っています。



技能実習生の受け入れにあたり、私たちは完全個室（最大人数 12 名）の女子寮を新設いたしました。寮はオール電化となっており、各部屋約 6.8㎡でトイレ、ベッド、学習机、化粧台付きです。入寮の際は、電化製品の使い方など理解しやすい説明が必要です。また食生活については日本と文化が違うため、特に食品保存については丁寧に説明しました。



▲寮の庭で家庭菜園
(2020 年 4 月撮影)



▲1 人 1 台自転車を用意
(2019 年 12 月撮影)



▲共同キッチン



技能実習生が住んでいる場所は、近くに商業施設がないため、毎週金曜日の終業後、車で買い物にスーパーへ出かけます。始めた当初はレジで戸惑うこともあり、サポートしていましたが、今は全員スムーズに買い物ができており、セルフレジにチャレンジする技能実習生もいます。その他にも、大型商業施設に全員で食品以外の買い物に出かけることも行っております。



※現在は感染対策のため自粛中

日本の文化に触れてもらいたく、私たちは定期的に懇親会を企画し実施してきました。技能実習生全員が初めての訪日でしたので、どこへ行っても目を輝かせて大変楽しんでいます。公共交通機関での外出しできない環境ですので、今後も積極的に企画していきたいと考えております。



▲日本のお正月体験
(2020 年 1 月撮影)



▲近隣観光地でのレクリエーション
(2020 年 1 月撮影)



▲地元サッカーチームの試合観戦
(2020 年 2 月撮影)